

あらうみ 元旦号

平成9年1月1日

平成9年/1997年
1月1日(水)



あらうみ元旦号

『発行』(社)いわふね青年会議所
村上市小町4-10
広報渉外委員会
委員長 阿部浩一
☎ 0254-53-4257

明けまして おめでとう ございます

地域と共に30年 つなごう広域ネットワーク

(社)いわふね青年会議所
新理事長

尾形修平

新年の御挨拶

理事長

尾形修平

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり御挨拶を申し上げます。1967年に全国で353番目に誕生した村上青年会議所が、時代の流れと共に変遷し、本年(社)いわふね青年会議所として30周年を迎えられることは、ひとえに、JCIの理念のもとに数多く事業を行ってきた先輩諸兄、またそれを支えて下さった地域の皆様のおかげであります。我が青年会議所は創立23年目に社団法人格を取得し25年目により広域的な活動を目的とし(社)村上青年会議所から(社)いわふね青年会議所へと名称変更を行いました。

国内では福井県の鯖江青年会議所と、また一昨年は韓国の東草青年会議所との姉妹JCIを締結し交流を深めると共に、昨年はお隣り山形県の南陽JCIとの交流が始まり、我々も岩船港の利用促進をはじめ、新潟・山形南部連絡道の早期実現を共に運動し経済的にも文化的にも地域を越えたお付き合いをして行きたいと考えております。

この30年間、時代は大きく変化してきました。経済の発展を求めるばかりに私達人間は色々なことを犠牲にして来ました。しかしここにきてそれが誤りであったことに多くの人が気が付きはじめました。物質的

直前理事長

藤井昭弘

新年、明けましておめでとうございます。昨年(社)いわふね青年会議所理事長として、皆様方に大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

昨年一年間「The Expanding Iwafune Community 手をひきあひつるコミュニティ」のスローガンのもと活動いたして参りました。

5月には、大韓民国新潟領事館、新潟県国際交流協会のご後援のもと東草青年会議所との初めての共同事業としての東草市児童絵画展を村上プラザで開催し、また山北町役場、村上市役所への表敬訪問を致しました。また今回の訪問で同行した韓国江原日報が、カラー写真入りでいわふね地域の紹介をしていただきました。このJCIの交流が、両国市民の交流のきっかけになっていただきたいと思っています。

4月には、「のぼせ高速道路の会」を民間団体で組織し、建設省への陳情、中尾建設大臣、橋本道路局長をお迎えしての建設促進大会開催の協力、またJCIとしては、第9回日本海夕陽ラインネットワークin秋田への参加、日本道路公団との懇談会等を致しましたが、このいわふね地域の開発に欠かせない日本海沿岸東北自動車道の早期実現にむけて、地域市民一体となった活

な豊かさより心の豊かさを求めるようになってきたのではないのでしょうか。

JCIの活動もそれと異なる変わって来ました。「地球市民の時代」。自然との共生、世界の人達との共創、ひとつの星「地球」の上で全てものが共に生きていけると言う意識を持たなければいけない、これこそが我々が今後活動する上でベースとしていかなければならない事だと思えます。

地方分権・規制緩和・行政改革など社会のシステムが変化をみせはじめています。私達ひとり一人もかわらなければなりません。地域の事は全部お役所がやってくれるのではなく、みんなのこ(公共)はみんなで作るようにならなければなりません。学校にしても道路にしても住民の「声」で作っていかねばなりません。

この地域も超高齢化を迎えています。今後、介護を要する人は間違いなく増加してきます。家族の負担も大きくなるでしょう。



藤井直前理事長(左)と、尾形新理事長(右)

高齢化の介護問題も地域や、より多くのボランティアで行っていただけるようにしたいものです。

そんなひとつとつくり、まちづくりを一人でも多くの仲間と行っていけたらと思います。

青年会議所は20から40歳までの性別、国籍を問わずに誰でも入会できます。一人では出来ないことも多くの仲間となら出来ます。MAKE IT ドラマチック！をしてみませんか。

基本方針

1. みんなのことはみんなで作る
2. 一生涯つきあえる仲間づくり
3. 例会、委員会の出席率アップ

重点事業

1. 30周年記念式典の開催
2. 事業の実施
3. 東草JCI、鯖江JCI、南陽JCIとの交流
4. 第20回全国町並みゼミへの参加協力
5. 第5回国際トリアスロン大会への参加協力
6. パソコンの研修

このほかにも、平林、関谷中学校のみなさんに、多大なるご協力をいただいた荒川のクリーン作戦、桜ヶ丘高校の先生との懇談会、第4回村上国際トリアスロンアジアアカップ大会開催協力等、本当に多くの事業の中で、多くの人と知り合い、多くの人と語り、多くの人と交流し、多くの人と一緒に活動できたこと、いわふね青年会議所が、また自分自身が研修の場を与えていただいたものと考え、大変感謝しております。

本年度は、1967年、村上青年会議所が設立されてから、30周年の記念すべき年となります。これまで多くの先輩諸兄が築き上げてきた輝かしい伝統の上、尾形修平理事長のもと、さらなる飛躍をとげるものと確信しております。

最後に昨年大変お世話になりました、関係各位の皆様にお礼申し上げます。本年度も、昨年以上のご指導とご協力をうけたまわりますようお願い申し上げます。

本年も皆様方にとりまして幸多き年でありますことを願ひ、新年のご挨拶とさせていただきます。

この紙面は自然愛護の為、再生紙を使用致しております。

「ひとづくり」「まちづくり」を!!



監事

中村良一
中村建具店



監事

宮本慶太
㈱宮作



専務理事

木村友紀
㈱木村組



直前理事長

藤井昭弘
㈱花のふじ井



理事長

尾形修平
㈱尾建設



副理事長

石田芳明
石田保険事務所



副理事長

小田和則
㈱鈴木経営C・S



副理事長

飯島加代子
㈱飯島写真館



副理事長

小林大作
㈱小林組



高橋辰幸
㈱夢クラフワーク



中村慎一郎
㈱ナカムラ自動車

事務局

事務局長

事務局長
中村慎一郎

明けましておめでとうございませう。
私が生まれたのは昭和42年です。奇しくも(社)いわね青年会議所は本年30周年を迎え、まさに同年なのです。このまま、J Cも私も順調に進んでいけば35周年も40周年も当然のごとく一緒に迎えることでしょう。そうしたなかで、晴れある周年の年に事務局長として迎えられることは何より喜びと感ずります。
事務局は別称「secretary」と言われますが、あらためてこの意味を考えてみると「秘書」や「書記」といった和訳をされています。このことから、事務局というのはただ単に書記官として議事録を作成したり、案内を出すといった受動的な仕事ばかりでなく、ある程度の秘書的役割を持った部署であると思えます。会としての統一見解としてわが担当である事務理事がその役割を果たしているわけですが、今年には契機となるようなことも含めつつと能動的な仕事をこなす事務局として活躍致したいと思います。



金子三十美
㈱金子工務店



本間広樹
㈱本間建設

情報ネット委員会

委員長

委員長
本間広樹



横山浩
三和システムエンジニアリング㈱



三田正志
㈱瀬波グランドホテルはぎのや



渡辺衛
㈱ますや旅館

明けましておめでとうございませう。
ここ数年、インターネットという言葉を新聞、テレビ、雑誌で見かけない日はありません。その半面、身近にインターネットと接している人は意外と少ないのではないのでしょうか。それは、いわね青年会議所も例外ではありません。インターネットはあらゆる情報のネットワーク網の普及、発展により地域の壁どころか国境さえもこえて個人の自由なネットワークが世界を形づくる時代となりました。多くのメンバーに早くに体感してもらい、今後のJ C活動、ビジネスのきっかけにしたいと思っております。



大田文美
㈱大田電気

研修委員会

委員長

委員長
大田文美



益田大志
㈱ミスツツタヤ村上南店



加藤博
加藤造園



高橋祐
㈱アベックス

明けましておめでとうございませう。
当青年会議所は30周年をむかえ、設立当初として10周年20周年を経過してきた中で、昨年は多くの諸先輩方が卒業されていきました。そして今年には新しい青年会議所に生まれ変わらなければなりません。
当委員会は、町づくり、家族(いえ)づくり、そして人づくりの第一歩として新しい講習会を試みます。また、会員の意識を高める為として、参加したい青年会議所にするためにはどうしたらよいか委員会メンバー全員一丸となって活動していきたいと思っております。



渡辺克美
大黒屋丸山荘



渋谷隆
㈱渋谷工務店



鈴木憲一
中安薬局

拡大オリエンテーション委員会

委員長

委員長
鈴木憲一

明けましておめでとうございませう。
(社)いわね青年会議所も本年で30周年という大きな節目の年です。
30年間活動してきた中で、色々な地域の方との出会いがあり、J Cを御理解して頂き、今があると思えます。
今年も人との出会い(コミュニケーション)を大切に、一人でも多くの方に御理解を頂き入会して頂きたいと思っております。一丸となって頑張りたいと思っております。



五十嵐和明
村上信用金庫



晴山誠
㈱都市環境緑化



田村崇行
㈱ヤマギン

総務委員会

委員長

委員長
田村崇行

明けましておめでとうございませう。
「一燈照隅 万燈照闇」
我が社団法人いわね青年会議所は、村上青年会議所設立以来30周年を迎えようとしております。自然に寿命があるように、団体、法人、政党にも寿命があります。一般的に団体の寿命は3、40年だと言われております。設立当初、先輩諸兄が「明るい豊かな社会の実現」の志に燃え「情熱」という新品の電池が入りました。言動に電気が流れ光々と明かりを放していった。しかし、今30年が経ち光度が消えているように弱くなった様に思っています。今こそ我々の手で電池の入替えをしなければなりません。
「明るい豊かな社会の実現」の情熱の光を光々と発するために。

皆様とともに あすへのための

広報渉外委員会

委員長



阿部 浩一
（株）日本旅行 村上支店

副委員長



鈴木 一之
（株）益泉
ヤマザキデパート7F村上南町店

委員長

阿部 浩一

明けましておめでとうございませう。
今年度（社）いわね青年会議所が30周年を迎えるにあたり、今まで以上に地域の方々に活動内容を理解してもらい、さまざまな行事に協力して頂くために、又、会員の拡大の補助的役割を担えるような活動をして、（社）いわね青年会議所の対外的なアピールに力を入れたいと思います。以上の事から、広報渉外委員会としては、特に外部報に力をいれられる体制を整えたいと考えております。



山田 マリ
ヤマダホーム（株）



須貝 博毅
（株）須貝電器



高橋 正男
朝日急送新潟営業所

交流委員会

委員長



中山 和久
（株）中山商会

副委員長



須貝 忍
須貝忍理容室

委員長
中山 和久

明けましておめでとうございませう。
我がいわね青年会議所も今年で創立30周年を迎えることになりました。今年度は良き節目として、当青年会議所運動の基本理念をしっかりと踏まえ、新たな飛躍をしなければならぬ年であることは明白であります。当交流委員会ではメイン事業である韓国東草J.Cとの交流を人間味のある国際交流ができるよう企画していきたいと思っております。今年度は東草を訪問する年でありませう。まだ訪問していない方は是非一緒に参加して頂きたいと思っております。また家族交流も趣向を凝らして開催したいと思っておりますので多数の方々の参加をお待ちしております。当委員会は会員の参加を頂ければ事業を行うことができます。何卒皆様のご理解ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

活性化委員会

委員長



渡辺 明
（株）わら竹

副委員長



関根 一富
（株）サイケンレンタル



渋谷 浩
渋谷建設（株）

委員長

渡辺 明

明けましておめでとうございませう。
社会が成熟すればするほど「ひとと地域を肌で感じることのできるまちづくり」が求められます。いま一番大切なことは自分の文化に誇りを持つことではないでしょうか。我々の住んでいるいわね



澤田 篤
（株）柏崎ドライ



木戸 直之
木戸豊工業

ね地域にはすばらしい自然、文化、歴史、産業等があります。
これらをもう一度考え、地域住民一人一人が誇りを育てようとならば、誇りを進めていく必要があると思っております。
当青年会議所では21世紀に向けて広域まちづくり等さまざまな活動を展開してまいりました。当委員会では、今年度いわねJ.C30周年を迎えるのを節目に地域の特性を活かした活動を行うてまいりたいと思っております。今年度は地域文化の中の伝統行事にスポットを当てて、地元の方々とふれあい語り合っ、伝統行事を活かした地域の活性化について考えて行きたいと思っております。
初めての事業ではありませうが、皆様のご指導ご協力を宜しくお願い申し上げます。

広域ネットワーク委員会

委員長



鈴木 敏明
（株）山本組

副委員長



高橋 和
旭電工（株）



工藤 和彦
（株）加藤組新潟営業所

委員長
鈴木 敏明

明けましておめでとうございませう。
1996年は約半年をかけて他の民間団体と行政の協力を得ながらシンポジウムを開催しました。そのプロセスにおいて、我々が感じたのは、「ネットワークは地域の自立に不可欠である」でした。
1997年はより大きなより強いネットワークの構築を目指して、外部との交流、意見交換を推進します。

友情よ、いつまでも



卒業メンバー 左から 鈴木正志 磯部正宏



菊地正明 横井 仁 佐藤重陽 板垣良夫 長谷川伸次

向業のみぎり、我青年会議所の卒業式が行われました。青年会議所活動、十数年というベテランの先輩方七名が卒業されました。それぞれの数多くの思い出、これまでの足跡を語る中、しばし涙ぐむ一面も見られ、青年会議所の友情を垣間見た感動的な卒業式となりました。青年会議所での、友情、感動、熱意と共に明日からのスタートとしていただけたらと思っております。

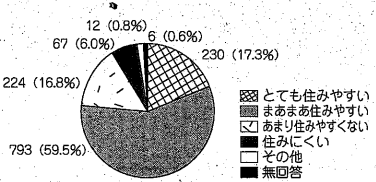
J C 活動に、あなたの
英知と勇気と情熱を！

今こそあなたの力を J C 活動の中で発揮してみたいかがでしょうか。あなたの人生の中で J C 活動はプラスになると思っております。
あなたの英知と勇気と情熱を思いっきり J C 活動の中で出してください。ご入会を心よりお待ちしております。

お問い合わせは
拡大オリエンテーション委員会
村上商工会議所内（社）いわね青年会議所
委員長 鈴木 憲一 まで

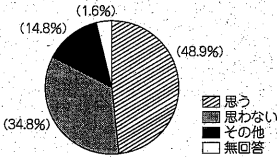
広域まちづくりアンケート

★住んでいる地域の住みやすさは?



- 1.とても住みやすいと答えた人の理由
- 自然環境が良い(海川山空気水)…95
 - 静か 平和 広々 のびり 都会化していない…25
 - 生まれ育ったところ 住み慣れている…20
 - 地域の人間関係が良い(親戚 友人がいる)…19
 - 居住環境が良い…14
 - 交通の便が良い…14
 - 買い物の便が良い…12
 - 地域のまとまり 活気がある…7
 - 物価が高い…5
 - 特に不満がない…3
- 2.まあまあ住みやすいと答えた人の理由
- 自然環境が良い 公害がない…206
 - 交通の便が良い…69
 - 静か 平和…55
 - 買い物の便が良い…48
 - 全体的に便利 住みやすい 不自由がない…33
 - 地域の人間関係が良い…26
 - 生まれ育ったところだから…21
 - 物価が高い…8
 - 食への物が高い…5
 - 発達しつつある…5
- 3.あまり住みやすいと答えた人の理由
- 交通が不便…61
 - 買い物が不便…54
 - 地域の人間関係が悪い
 - 地域性が封建的 閉鎖的 干渉する…17
 - 病院等の施設が不足…16
 - 騒音…12
 - 不便 田舎…9
 - 就職先がない…7
 - 高齢化 活気がない…5
 - 物価が高い…5
 - 公共社会資本整備の遅れ…5
- 4.住みにくいと答えた人の理由
- 全体的に不便 不足 田舎…19
 - 買い物が不便…14
 - 交通が不便…14
 - 人間関係が悪い 地域性が嫌い (閉鎖的 干渉する 男女差別 等) …9
 - 公共社会資本整備の遅れ…7
 - 遊び場がない…6
 - 就職先がない…2
 - 教育施設等教育環境の整備の遅れ…2
 - 活気がない…1
- 5.その他と答えた人の理由
- 人間関係が悪い(わずらわしい) …3
 - 経済的不満…1
 - 交通が不便…1
 - 騒音(自動車)…1
 - 高齢化 活気がない…1
 - 何でも村上市中心…1
 - その他…3

★将来も今の地域に住みたいと思いませんか?



- 1.思うと答えた人の理由
- 自然環境が良い…124
 - 生まれ育ったところ 住み慣れている 落ち着く…123
 - 良いところ 住みやすい…88
 - 家族がいるから 家を守るため…42
 - 人間関係が良く 住みやすい…28
 - 人間関係が良い…23
 - いえる守るため 他にいけない…19
 - 行くところがないので仕方なく…19
 - 地域のまとまりが良い…9
 - 地域行事(お祭り等)がある参加するため…6
 - 食への物が高い…4
- 2.思わないと答えた人の理由
- 他のところで生活してみたい(親から離れたい 交流を広い) …111
 - 田舎 何もかも不便 情報不足…55
 - 就職先がない…30
 - 地域性 人間関係がイヤ (閉鎖的 人情がない 干渉する) …23
 - 交通が不便…18
 - 買い物が不便…15
 - 将来発展性がない…13
 - 活気がなく 魅力を感じない…5
 - 住みにくい…5
 - 公共施設教育施設やサービスの不足…4
- 3.その他と答えた人の理由
- 将来のことは解らない…44
 - 地域の将来次第…16
 - 若いときは外へ出たい…12
 - 出たくても出られない (他に行くところがないとありあらず住んでいる) …8
 - 就職先がない…5
 - どちらでも良い…5
 - 家を守るために住んでいる…3
 - 活気 発展性がない…2
 - 住みにくい…2
 - 迷っている…2

平成8年度(社)いわふね青年会議所 広域まちづくり委員会実施

広域まちづくりアンケート集計結果報告

広域まちづくり委員会が今年度事業の一つである「広域まちづくりアンケート」に御回答頂いた皆様様に厚く御礼申し上げます。

この度のアンケートは、地方分権という大きな流れの中で、これからの「広域的なまちづくり」の参考に活用すべく、岩船郡村上市の7市町村を対象に企画実施致したものです。この集計結果を十分に活かしながら引き続きまちづくり活動を推進していきたいと考えています。

また、御回答をいただいた皆様にも、このアンケートを機会に、まちづくりについてより一層の御関心・御理解を頂けたら大変嬉しく思います。

なお、配布回収に当たりましては岩船郡村上市の小・中学校、高等学校、専門学校の先生方の御理解御協力を賜りました。大変ありがとうございました。(紙面の都合上、アンケートの一部を掲載させていただきます)

委員長 鈴木敏明

対象者…いわふね地域内に在住、在勤、在学の方々
 配布時期…平成8年7月上旬
 回収時期…平成8年9月上旬
 配布枚数…2100枚
 回収枚数…1332枚
 回収率…約63.4%

手をつなごう ふるさとづくり

「広域まちづくりシンポジウム」

開催日/1996年12月1日(日) 会場/村上市民ふれあいセンター



佐藤 森林組合では付加価値を高めるために、製材工場をもつようになつた。これからは山を守り、建築材を提供する。

報告者・座長 平田大六氏

内容を3つに分けて報告させていただきます。

一番目は導入部分。岩船産の米というものは近年ずっと評価が上がってきております。ただ食べ過ぎておいて来てでなく、直接買ってきて、「これはうちで食べている。うちが作ったコシヒカリです。」と言われて食べる米は、通常よりもはるかにおいしい。裏を返

山岸俊男氏(新潟県土木部道路建設課長)

(長谷川) 全国に岩船という地名はいつかあるが、郡域にまでひろがっているのは、ここだけである。昔から岩船圏は安定した地域であったといえる。対馬海流に乗った海運が昔の高速道路であった。高速道路が昔の高速道路の東部・新潟が近くなる。文化が入ってくるし、観光客がくる。また、産業の構造が変わる。なによりも、精神の面で大きな影響があると思う。村上の武家屋敷は、開発の手が伸びて来なかったために残っている。これからの観光資源を活かしてまちづくりにつなげたい。

佐藤 森林組合では付加価値を高めるために、製材工場をもつようになつた。これからは山を守り、建築材を提供する。

第一分科会 「高速道路とまちづくり」

石川 寛氏(新潟交通(株)顧問)

佐藤 寛氏(山北町森林組合)

相馬真美氏(翔アトリエアシスタント)

長谷川勲氏(村上市まちづくり推進協議会)

山岸俊男氏(新潟県土木部道路建設課長)

「高速道路とまちづくり」

石川 寛氏(新潟交通(株)顧問)

佐藤 寛氏(山北町森林組合)

相馬真美氏(翔アトリエアシスタント)

長谷川勲氏(村上市まちづくり推進協議会)

山岸俊男氏(新潟県土木部道路建設課長)

12月1日に行われました「広域まちづくりシンポジウム」手をつなごうふるさとづくり」に関しましては、一早い降雪にもかかわらず、多数の御参加を賜り、ありがとうございました。

基調講演後の分科会におきましては、ご意見を多数いただきました。貴重なご意見を参考にさせていただきます。今後のまちづくり活動に對しての参考とさせていただきます。

ここに分科会で発表された内容を要約して、掲載致します。

広域まちづくりシンポジウム実行委員会 委員長 藤井昭弘

給しているか常に不安を抱えながらやっています。全国的に過疎化と過密化が極端になり、この地域に高速道路が本当に必要なのか疑問視されることがあるが、自分としては必要だと思つていて、経済効果を考えると、県境を早くから工事を始め、同時に開通させるべきだ。岩船地域を素通りさせないために全国に誇れるSAやPAを広域で作るとかして欲しい。

(相馬) 自然豊かな地域に住んでいる人は、都会志向だが、反対に都会の人は、自然豊かな所で暮らしたいという人が増えている。人は、ないものねだりするものだ。高速道路の必要性と位置付けをきちんと議論してから引張ってきたらいいと思う。高速道路は手段としては便利だが、環境の立場から見ると破壊につながる。エコノミーとエコロジーをどう両立させていくかが問題だ。高速道路が来たときソフトな観光、自然豊かな所の観光、自然型観光などがいいと思う。

第二分科会 「岩船地域の農業の在り方を考える。」

報告者・座長 平田大六氏

内容を3つに分けて報告させていただきます。

一番目は導入部分。岩船産の米というものは近年ずっと評価が上がってきております。ただ食べ過ぎておいて来てでなく、直接買ってきて、「これはうちで食べている。うちが作ったコシヒカリです。」と言われて食べる米は、通常よりもはるかにおいしい。裏を返

山岸俊男氏(新潟県土木部道路建設課長)

(長谷川) 全国に岩船という地名はいつかあるが、郡域にまでひろがっているのは、ここだけである。昔から岩船圏は安定した地域であったといえる。対馬海流に乗った海運が昔の高速道路であった。高速道路が昔の高速道路の東部・新潟が近くなる。文化が入ってくるし、観光客がくる。また、産業の構造が変わる。なによりも、精神の面で大きな影響があると思う。村上の武家屋敷は、開発の手が伸びて来なかったために残っている。これからの観光資源を活かしてまちづくりにつなげたい。

山岸俊男氏(新潟県土木部道路建設課長)

(長谷川) 全国に岩船という地名はいつかあるが、郡域にまでひろがっているのは、ここだけである。昔から岩船圏は安定した地域であったといえる。対馬海流に乗った海運が昔の高速道路であった。高速道路が昔の高速道路の東部・新潟が近くなる。文化が入ってくるし、観光客がくる。また、産業の構造が変わる。なによりも、精神の面で大きな影響があると思う。村上の武家屋敷は、開発の手が伸びて来なかったために残っている。これからの観光資源を活かしてまちづくりにつなげたい。

山岸俊男氏(新潟県土木部道路建設課長)

(長谷川) 全国に岩船という地名はいつかあるが、郡域にまでひろがっているのは、ここだけである。昔から岩船圏は安定した地域であったといえる。対馬海流に乗った海運が昔の高速道路であった。高速道路が昔の高速道路の東部・新潟が近くなる。文化が入ってくるし、観光客がくる。また、産業の構造が変わる。なによりも、精神の面で大きな影響があると思う。村上の武家屋敷は、開発の手が伸びて来なかったために残っている。これからの観光資源を活かしてまちづくりにつなげたい。

山岸俊男氏(新潟県土木部道路建設課長)

(長谷川) 全国に岩船という地名はいつかあるが、郡域にまでひろがっているのは、ここだけである。昔から岩船圏は安定した地域であったといえる。対馬海流に乗った海運が昔の高速道路であった。高速道路が昔の高速道路の東部・新潟が近くなる。文化が入ってくるし、観光客がくる。また、産業の構造が変わる。なによりも、精神の面で大きな影響があると思う。村上の武家屋敷は、開発の手が伸びて来なかったために残っている。これからの観光資源を活かしてまちづくりにつなげたい。



山岸俊男氏(新潟県土木部道路建設課長)

(長谷川) 全国に岩船という地名はいつかあるが、郡域にまでひろがっているのは、ここだけである。昔から岩船圏は安定した地域であったといえる。対馬海流に乗った海運が昔の高速道路であった。高速道路が昔の高速道路の東部・新潟が近くなる。文化が入ってくるし、観光客がくる。また、産業の構造が変わる。なによりも、精神の面で大きな影響があると思う。村上の武家屋敷は、開発の手が伸びて来なかったために残っている。これからの観光資源を活かしてまちづくりにつなげたい。

山岸俊男氏(新潟県土木部道路建設課長)

(長谷川) 全国に岩船という地名はいつかあるが、郡域にまでひろがっているのは、ここだけである。昔から岩船圏は安定した地域であったといえる。対馬海流に乗った海運が昔の高速道路であった。高速道路が昔の高速道路の東部・新潟が近くなる。文化が入ってくるし、観光客がくる。また、産業の構造が変わる。なによりも、精神の面で大きな影響があると思う。村上の武家屋敷は、開発の手が伸びて来なかったために残っている。これからの観光資源を活かしてまちづくりにつなげたい。

山岸俊男氏(新潟県土木部道路建設課長)

(長谷川) 全国に岩船という地名はいつかあるが、郡域にまでひろがっているのは、ここだけである。昔から岩船圏は安定した地域であったといえる。対馬海流に乗った海運が昔の高速道路であった。高速道路が昔の高速道路の東部・新潟が近くなる。文化が入ってくるし、観光客がくる。また、産業の構造が変わる。なによりも、精神の面で大きな影響があると思う。村上の武家屋敷は、開発の手が伸びて来なかったために残っている。これからの観光資源を活かしてまちづくりにつなげたい。

山岸俊男氏(新潟県土木部道路建設課長)

(長谷川) 全国に岩船という地名はいつかあるが、郡域にまでひろがっているのは、ここだけである。昔から岩船圏は安定した地域であったといえる。対馬海流に乗った海運が昔の高速道路であった。高速道路が昔の高速道路の東部・新潟が近くなる。文化が入ってくるし、観光客がくる。また、産業の構造が変わる。なによりも、精神の面で大きな影響があると思う。村上の武家屋敷は、開発の手が伸びて来なかったために残っている。これからの観光資源を活かしてまちづくりにつなげたい。